

広報



ごじようめ

発行所 秋田県五城目町役場秘書課編集

電話(018876)代2100番

印刷所 湖東印刷所

電話(018876) 2430番

一部5円 郵便番号 018-17

毎月1日・15日発行

(広報紙中にある写真を欲しい方には
おあげします)

水泳大会をかい間見て

～ 本格的なカリキュラムをたてるとき ～

馬場目小学校健闘

八月二十九日、五城目小学校のプールで町内小・中学校の水泳大会が行われた。小・中学校が一緒に大会をやっているところは、県内でも珍らしいと山平校長が述べていた。成績は、六年生が大健闘の馬場目小、五年生は五小三組の順当勝ちとなった。

戦いにのぞむ生徒たちの真しな姿に感動してきたが、何かしらひっかかるものを感じないわけにはいかなかった。開会式にのぞんだ選手たちの体をみて、何と肥満型の多いこと。まして選手以外の生徒たちにおいておやである。その数が多いのではないだろうかと思われる。赤ちゃんコンクールが肥満に因んで中止を余儀なくされたときが、うなずける。食生活が運動不足か、少産過保護か、その原因はさだかでないが、関係機関が提携して詳細な調査をすれば子どもたちの成長にプラスの資料が生まれるのではないだろうか。

たくましさはほしい

今一つ、中学生の泳法はダイナミックで迫力がある。が、二五折往復がやつの選手も何人かいた。練習不足だろうことはハッキリしているが、仮にも大会に出場する選手である以上、数(き)然としたものがほしい。成績が良ければこれに越したことはないが、それにチャレンジする日常の「自分との戦い」が、スポーツの真髄だと思いがいが。スポーツ選手の良さはそのような態度から、豊かな精神が培われていくところにある。競技が終わって、プールサイドに上るときも、両腕で自分の体を支え切れず手伝ってもらいながら上る選手が多い。激しい運動後の疲れもあるだろうが、その姿にある種の驚きを覚えた。

粗食に耐えた時代の子どもたちは、そんな「ひ弱い」姿にはあまりお目にかかれなかった。もっとたくましく、もっと意地があった。よほどのことがないかぎり他人に手を貸してもらえないことはなかった。小さくとも自分のプライドはしっかりと守ったものだ。今の時代には通用しないかも知れないが。

施設の体系はできた

町内各小、中学校と、屋内温水プールも施設の体系はできた。あとは、学校、社会体育の中心でどのようにカリキュラムを組み、指導していくかである。施設を生かすも殺すも人の心次第である。本格的に取り組む時期だと思うが。

蓬内台	門前	町	帝釈寺	岩城町	樋口	上樋口	上樋口	館越	久保
一石	石	齊石	伊伊伊伊伊伊	石	草草草大	石石石	吉工	猿猿猿	猿猿猿
関井	井	藤井	藤井	藤井	皆皆皆	森井	井井井	田	政
利	鉄三郎	幸四郎	芳進	武男	昭一郎	貞吉	与藏	鉄二男	定雄
市昭	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎
富田	上山内	下山内	合地	杉沢	恋地	水沢	平ノ下	中村	寺庭
石原	原	石	石	昌	伊	小	小	金	大
井田	田	井	井	山	山	田	藤	玉	林
藤	賢治	ハギエ	留一	秋一	孫一	春三	翁一	憲一	庄一
治	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎
湯ノ又	黒土	小倉	北北口	高千	落合	脇乙	台御蔵下	八田	伊
沢田	石	沢田	石	沢田	石	松	小	伊	原
富	林	五	徳次郎	広治	見一	堅之助	哲朗	勇蔵	与太
雄	之助	蔵	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎
大川	浅見内	千	伊	近	金	石	石	船	佐
小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
熊	野	野	野	野	野	野	野	野	野
正	平	喜	欽	勸	善	正	金	幸	勝
直	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎
浦横町	岡本	谷地中	西野	石崎	下樋口	曙町	千	佐	加
小	小	小	小	小	小	小	小	小	小
玉	玉	玉	玉	玉	玉	玉	玉	玉	玉
辰	昭	幸	静	雄	龍	久	安	美	正
三	悦	三	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎

地区別町税納付状況

(単位円)

地区別	全戸	任意	納税額	納期内納付		納期外納付	
				納付額	割合%	納付額	割合%
五城目地区	15	22	113,058,160	73,225,820	64.77	39,832,340	35.23
馬川地区	5	3	28,282,860	11,156,350	39.45	17,126,510	60.55
面潟地区	5	3	18,950,080	9,368,420	49.44	9,581,660	50.56
馬場目地区	17	2	44,097,280	15,529,510	35.22	28,567,770	64.78
富津内地区	14		41,862,130	17,667,600	42.20	24,194,530	57.80
内川地区	13		31,107,360	10,267,790	33.01	20,839,570	66.99
大川地区	10	11	46,072,800	23,534,330	51.08	22,538,470	48.92
合計	79	41	323,430,670	160,749,820	49.70	162,680,850	50.30

千田	佐川	加藤	加藤	小野	小野	沢田	近藤	小玉	北王	齊藤
源一	善四	榮藏	美藏	豊雄	美雄	福司	長司	清一郎	孫右衛門	鉄治
大川	大川	中川	館町	館町	新館	新館	新館	新館	新館	新館
以上八組合	以上八組合	以上八組合	以上八組合	以上八組合	以上八組合	以上八組合	以上八組合	以上八組合	以上八組合	以上八組合

県の記念式典で

菊地氏28年間の功労称えられる

—和喜子さん堂々の作文朗読—

八月二十九日、第十五回

「県の記念日」の記念式典を県民会館で行ったが、その席上、長年にわたり地方自治の進展に功労のあった本町町議会議員菊地耕二氏と記念作文入選者として、五城目小学校三年生の金子和喜子さんがそれぞれ表彰された。

二八年間の議会活動認められる

菊地耕二（五六歳）氏は、昭和二六年四月から現在まで二八年間町議会議員として活躍され、その間議長三期、決算特別委員長などの要職を歴任され、町政進展のた



め尽されているほか、昭和三七年四月から九年間、地区少年保護育成委員として、また、昭和四三年七月から現在まで一年間保護司として民生の安定に尽された。一方、五一年五月から五城目町商工会会長に就任され、町の商業の発展に努力されてきたところである。

一二七編の中から

金子さんの作文特選

金子和喜子さんは、中川原の金子喜三郎氏長女で、秋田杉と父親とのかわりを書いた作文が、応募一二七編の中から選ばれたもの



である。当日一千人を越す大観衆の前で堂々の発表で、さかんな拍手を受けていた。（作文の内容は別記）

父のしごと

五城目小学校三年

金子 和喜子

わたしのすんでいる五城目は、緑にかこまれた、自ぜんにめぐまれた町です。父の話では、五城目の近くは山がたふさんあり、木がほうふだからむかしからさいさい所や、木で

ものを作る仕事がかんだったというこでした。

父も、すぎの木でおけを作るしごとをしています。二十年ぐら前までは、どこの家でもおけにつけものをつけたたり、あらいいおけにしたり、入れものにしたり使い道がたふさんで、みんなにちようほがられていたそうです。今は、ボリのおけが使われてあまり木のおけが使われなくなりました。

父は、「なんとかして、今までたふさんの人によってひきつがれて来たおけをなくしたくない。できたら、この秋田杉で、何かみんなによるこぼれる、おけや、そうしよく品がでできないか」と考えたそうです。

小さい時から、工作がすきで、きような父だから思いついたらだまっています。

杉の木を手にし、一時間も木とにらめっこをし、曲げたり、うすくしたり、まるめたりして、何日も何日も研究して、きれいなひょうたんとか、花立て、一寸ぼうし

の使ったようならうちでのこづち、おかし入れなどを作りました。また、日本一小さい直径一センチぐらいのおけも作りました。

学校から帰ると家の中は、杉の木のおけがぶんぶんします。お父さんに、「なんでおけやになったの。」と聞くと、

「秋田杉がすきなこと、物を作るこがすきだから。それに秋田杉は、日本一美しい木だから。」とほこらしげに言います。

私も杉の木がすきです。父のそばにいて木にさわってみると、あたたかくてやわらかい感じがします。また、まっすぐな線もとてもきれいです。父はその線をりよ

うして線のもようも作ります。仕事をしている時の父の顔は、しんけんです。私がいつでもそばにいます。

「和喜子何してる。じゃまだからあつちさ行ってれ」とおこります。いつもなら竹とんぼを作ってくれるやさしい父なのにとわたしはへんな気もちになるときがあります。

夕食の時は、おこったことがわるいと思つたのか、

「和喜子。父さんはな、七月に東京でてんじ会をやることになってるからな。」

とやさしく言います。すると母もそばから、

「父さんは、夜もねないで考えごとをしたり休まないでがんばっているべ。」と言います。

私はせいこうするうちに、あまりじやまになつたり、心ばいがかけたりしないで、思いつき仕事ができるように協力しなければと思ひました。

去年のてんじ会は、とてもひょうばんがよく、東京とか大阪の人たちがわざわざたづねてくることがあります。そして、花立てや、おさけを入れるたるを買って、すばらしいところこんで帰っていき

ます。秋田杉の赤みの色、まっすぐな木目、それに杉のなんとも言えないにおいが気に入っているようです。

こんど東京で開かれるてんじ会でもたふさんの人に見てもらい、秋田杉のよさを知ってもらいたいと思っています。

父は、テレビや、新聞にもできました。秋田の杉のせい品が全国にしようかいされることは、すばらしいことだと思ひます。

まっすぐな一本の木から色々な

住みよい街づくりのためにご協力を

ためにご協力を

九月中旬から約一カ月間にわたり、建設省、秋田県、五城目町と共同で、人の一日の動きを調べる「パーソントリップ調査」を行うことになりました。

総合交通計画を立てる資料に

私たちの日常生活にとって欠くことのできない、鉄道、バス、道路などいろいろな交通施設について、総合的な計画をつくるため極めて重要な資料となるものです。今後、その資料に基づいて、朝夕の通勤、通学のための交通や新しい交通機関の導入あるいは、道路の整備など日常生活に密着した総合交通計画を立てる資料となるのです。

※パーソントリップこの言葉は、フランス語で

人の動きという意味に使われています。

調査の規模は、秋田市、男鹿市、五城目町、八郎潟町、若美町、井川町、飯田川町、天王町、昭和町

形物ができるのだから、今まで二十年も休まずがんばった父のくろが、このきれいなせいひんににじみ出ているように思ひます。そして父の顔と手とせいひんを見くらべることがあります。このてんじ会は、きょうど五城目町と秋田県を知ってもらいたい会だと思ひます。

父はこれからは全国にじまんできるものを、秋田杉からたくさん作ってくれることでしょう。わたしは、そんな父をいつまでも見まもっていきたいと思っています。

安全快適な地域発展のためにご協力を

調査の方法は、調査日の一日か二日前に調査票をもってご家庭を訪問し、記入方法などを説明して後日再び調査票の回収にまいります。選ばれた家庭には、あらかじめハガキで調査についての協力をお願いするとともに、調査日の数日前、調査員の訪問日と時間をハガキで連絡させていただきます。みなさまがたの住んでおられる地域は、もとよりこの調査区域全体の将来を目ざして、より良い交通計画を立て、住みよい安全快適な地域社会に発展させるため、みなさまがたのご理解とご協力をお願いいたします。

敬老式貸切バス運行表

(9月12日)

車別	町内名	対象人員	始 発	通過予定時刻	車別	町内名	対象人員	始 発	通過予定時刻
1号車	高千	20	85 千 日	10時50分	5号車	湯ノ又	52	65	11時30分
	北々口	11		11時10分	6号車	黒土	13	下樋口	11時35分
	落合	16		11時20分		下樋口	19		11時30分
	協台乙	30		11時30分		大川	79		11時30分
	協台御蔵下	8		11時35分		野田	16		11時40分
2号車	合地	16	64 合 地	10時40分	7号車	石崎	16	石崎	11時30分
	杉沢	10		11時00分	8号車	谷地中	14		11時35分
	坊井地	5		11時10分		西野	33		11時40分
	恋地	21		11時15分		浦横町	19	浦横町	11時30分
	水沢	12		11時20分	9号車	岡本	35		11時35分
3号車	中村	25	102 中 村	11時20分	8号車	八田	15	八田	11時30分
	寺庭	13		11時20分		富田	30		11時35分
	平ノ下	17		11時25分		上山内	24		11時40分
	小野台	1		11時30分		下山内	32		11時45分
	蓬内台	12		11時35分	福祉バス	帝釈寺	17	帝釈寺	11時40分
	門前	11		11時40分		久保越	31		11時50分
4号車	町村	23	54 大 繁	11時40分	タクシ	高崎	39	公民館前	11時55分
	浅見内	43		11時20分		小倉	11		12時15分
4号車	小川口	11		11時30分					

九月十二日 敬老式

最高 八柳謙之助(九五歳)さん

― 岩手から民謡歌手一行アトラク出演 ―

九月十五日は敬老の日である。昭和四十一年から「国民の祝日」に加えられたが、この行事は、昭和二十六年から行われ、三十九年までは「としよりの日」老人福祉法の改訂以後は「老人の日」から「敬老の日」に落着いている。

町では、九月十二日午後一時から広域体育館で、七十歳以上の一、二、三、五人を対象に敬老式を行う。五城目町の今日を築き上げるため

に、懸命な努力を続け、貢献されたいみなさんを敬愛し、ますますの長寿を祝うために行うものであるが、当日の日程は次のとおりなので、集合時間やバス時間などお見落しのないようにしてください。

一、日 時 九月十二日
午後一時から三時三十分
二、場 所 広域体育館

教育振興大会
郷土の歴史と
発展を現場で
九月十一日

「学び続ける心を求め」をテーマに、九月十一日午前九時から、第十六回五城目町教育振興大会が開かれる。

- 三、その他
- ①貸切バス(本町部以外)を運行するので、ご利用ください
 - ②各自湯のみ茶碗を持ってきてください
 - ③アトラクションは岩手県の竹水会一行が出演して民謡を披露する

対象者は、幼稚園、保育所、小中学校職員、教育委員会関係者など二百名ほどになるが、当日はバス四台に分乗、広域林道など八カ所の視察をすることになっている。

日程は次のとおり。

- 一、日 程
- 受付 8時10分～8時50分
大会要項配布(広域体育館前)
 - 開会のつどい 9時～9時40分
(広域体育館前)
 - ①開会のことば 教育長
 - ②あいさつ 教育委員長
 - ③祝 辞 町 長
議長
中央教育事務所長
教育次長
 - ④日程説明
 - ⑤閉会のことば
 - ▽バス出発
9時50分 広域体育館前
10時40分 杉沢林道(北ノ又)
11時10分 杉沢地区
11時30分 コミュニティ施設
11時40分 広域林道五秋線
(馬場目門前)
 - 12時10分 割山峠
▽バス到着
12時30分 林業協業センター(昼食)
 - ▽バス出発
13時10分 林業協業センター
14時30分 森山キャンプ場
14時50分 浦横町林業集会所
15時30分 農村環境改善センター
▽バス到着
15時50分 広域体育館前
16時50分 16時
●懇親会 16時～(町民センター 四階 いやさか)
 - 二、その他
①服装はできるだけ軽装にしてください
②各自昼食を持参してください
③各自昼食用おにぎりをご希望の方は、二百円程度でお求めできますので、ご利用の方は、各機関ごとにとまめてご連絡ください
 - ④バスの乗車割については、主催者側で割振りします

楽しく充実した1日

― いこいの森で親子写生会 ―



わが子の絵に感心しているおとうさん

七十名の親子が参加した田町地域PTAでは、毎年自然をととした親子レクを行っているが、今年も八月五日いこいの森で子どもたちの作ったプログラムのもとに、七十名の親子が楽しい一日をすごした。

多彩なプログラムを見てみると親子オリエンテーリングをはじめ宝さがし、ドッチボール、スイカ割り、風船割り、綱引き、親子写生会など盛り沢山であった。

子どものたくましさを目を細め綱引きをしてみて、たくましくなった子どもたちの力に驚き、ねばりのなくなったわが体力にちょっぴり淋しさを覚えながらも、子どもの早い成長に目を細めた。

また写生会では、何十年ぶりで画洋紙に向う親ばかりで、とまどいながらも楽しく忘れていた童心にかえり、熱心に芸術作品の作製に取り組んでいた。

書き終えたあと、親たちは子どもの描いたものを、子どもたちは親の作品をそれぞれ評価採点し合った。忙しい日程であったけれども、あつという間の一日であった。

自然の魅力をもっと子どもに私たちの住んでいる町は、山あり、川ありで非常に自然環境に恵まれているが、学校は、ことばと文字と映像が主体になりやすく、遊びはテレビが主役、自然から遠ざかる現代の子どもたちであるが直接自然の中で遊ぶときは見違えるほどである。親子の心に何のわけだかまりもなく、対話もごくスムーズにでき、笑い声も絶えない。どうしてこんなに解放的になるのか、その根拠はよくわからないが大自然のなせるわざだろう。

親子のきずなをさらに強くし、楽しく充実した一日であった。

田町地域PTA会長 佐々木 広志

全県小学校クラブ野球

館岡のツラ／＼およばず

―六年ぶりの決勝進出ならず―

一点の差に泣く

八月九日から行われた第十回秋田県小学校クラブ野球大会に、南秋田郡を代表して出場した五城目小学校は、六年ぶりの全県制覇をめざしたが、二回戦で合川北小学校に一点の差で惜しくも敗れた。今年、五小チームは、マウンドを守る本格派川上投手を中心に、ムラのない攻撃とかがたい守りで、

追い上げ三ポイントに終る

翌十日、合川北小と対戦、一・二回戦連続五人が出塁なし、

▽シリーズ△ 心の病気 ⑧

秋田大学医学部附属病院
久場 政博

わたしはここ三回にわたって、「自分が絶対正しい」と主張する人、「家にとじこもる人」、「多弁多動の人」という題で、精神科



のある意味では特徴的な病気について話してきました。ある意味ではこのべたのは、みなさんのうち一部の人はうすうす気がついて、「これがまさに気がいではないか」と感じたのではないかといいこと。しかし、一部の人はこ

すすめによって、病気をなおそうと受診してきます。このように、これら精神的な意味での精神病のありさまは、その人の種々な条件によって、状態や経過が千差万別なのです。ところが一部の人は「あいつは気がいだからもう別種の人間だ。おそろしいやつだ」ときめつけてしまいい、その人がせつかく治ってき

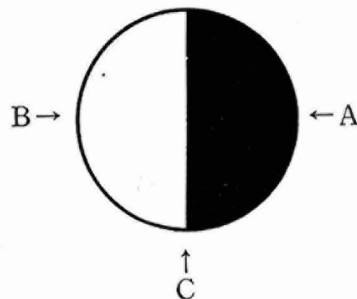
精神病について

―正常心に語りかけていく―

わたしからいいますと、これは両方ともある面で真実をついているといえるのです。この三つの状態がひどくなると、ある人はまったく手がつけられなくなり、周囲の人々に恐怖心をいだかせ、迷惑をかける場合があります。また、これらの状態が軽症であるなら、その人自身から、あるいは家族の

でも色眼鏡でみるようになります。つぎの図をみてください。円を人間にたとえ、白い部分を正常な心黒い部分を精神的な心の状態とします。いまのべた一方的「気がい」ときめつける人々は、Aの方向からしか、その人をみていないと思います。また、古い考えの人で「これは何かのたたりだ。病

気ではなく何かがついていっているのだ」といって、お払いやお祈りで解決しようとする人々は、Bの方向からしかみていないといえます。しかし、Cの方向からみたらどうでしょう。わたしたちはどんなひどい状態の人でも、Cの方向からみているつもりです。ちゃんと正常な心もあるのです。そして治療的には、この正常な心に働きか



な二点を献上してから、選手の動きがたかくなったこと、相手チームの打撃が紙一重の差で五小をリードしていたのが四対三の一点差となった。

五小
合川
0000030
0200200X
43

五城目町文学作品募集

一 募集要項

- ①募集部門
短歌・俳句・川柳・詩・随筆の五部門
- ②募集の制限、資格
短歌・俳句・川柳 はそれぞれ五首(句)

け、それを拡大し、心の病気の部分をなるべく減少させていくわけ

一言つけくわえますと、ひょっとすると正常な人間すら、大小はありますが、この黒い部分をもっているといえないでしようか。「なに、おれは正常だ。自信はあるぞ」という人がいたら、わたしからみますと、その人は自分の考えが絶対正しいという「正常妄想」にとらわれた、心の病いにかかっているといえるのですが...

二 参加費
各部門ごとに三百円を添えて応募してください。

季節労働者は是非

―畑町出身の原田さん―

五城目町畑町出身の原田広治さんが、郷土から季節労働者を募集している。仕事の内容は次のとおりなので希望者は、産業課担当係までお申込みください。

原田さんはジャイアントの原田選手のお父さんでもあり、昭和二十年まで大相撲で活躍、郷錦(さとしき)のシコ名で十両まで進んだが、その後廃業して、現在の光陽産業(株)へ勤め、三百余名の従業員をかかえる取締役専務となっている。

この職務のかたわら、在京五城目出身がつくっている「森山会」の幹事長や、日本相撲協会支部道場長、それに東京都青少年相撲練成道場長などの任にある。

NHKの福祉相撲などでよく前座戦に出演するチビッ子関取は、原田さんの愛弟子たちである。毎年本町からの出稼ぎのみならず、大相撲初場所観戦しているのも、原田さんのお世話をいただいており、関係者から感謝されているところである。

(附) 表

十一月に開催する「五城目町産業文化祭」において発表する

希望者は九月十日まで役場産業課までお申込みください。

(一) 締切り 九月十日(月)

七 その他

- (一) 応募は一人一部門一編とし作品は未発表のもの
- (二) 応募できる方は五城目町の町民であればよい
- (三) 応募上のきまり
(イ) 作品はすべて四〇〇字詰原稿用紙を使用、階書で書くこと
(ロ) かなづかいはいは新旧いずれかに統一すること
- (四) 原稿には、部門、氏名、号(ふりがな)、職業、年令、住所を明記して
五城目町上樋口字堂社七五
五城目町公民館内
五城目町芸術文化協会事務局
あて送付のこと
- (五) 基本給
十二万五千円(一日五千円)
食事代一日五百円(本人負担)
- (六) 交通費 往復会社負担
- (七) 年齢 六十歳までの方
- (八) 業務内容
トッパン印刷の軽作業
- (九) 雇用期間
九月十日から十二月三十日まで(本人の都合により自由)
- (十) 勤務時間
午前八時から午後五時まで(希望により残業あり)

成人おめでとう

二九五人が大人の仲間入り



新成人の言葉を読みあげる工藤さん(左)と越高さん

八月十五日午前九時半から、広域体育館と町民センターを会場に「新成人を祝う若人たちのつどい(成人式)」が行われた。

夏の成人式は、今では全国的に行われるようになったが、本町では四十三年から行っており「お盆の帰省を利用できる」「軽装で気軽に参加できる」と評判がよい。

二一六人に成人証書が
手渡される

今年度本町の新成人は男百四十二人、女百五十二名で、当日は二百十六人が参加した。会場は男子のかいきんシャツ、女子のワンピース

イスが目立った。

最初、新成人たちは、各地区ごとに分かれて、なつかしい恩師をかこんで、成人になった感想や将来について話しあった。その後、広域体育館に会場を移し、全員が見まもる中、加賀谷町長から各地区の男女の代表に成人証書が手渡された。また新成人から町へ記念植樹の目録が送られた。これらの樹木は、町の事業計画にあわせて道路や公園などに植えられることになっている。

あいさつに立った加賀谷町長は「昭和三十四・五年生まれのみなさんの戸籍には、出生の欄に私の

印が押してあるはずだ。だから私はみなさんに対して、なつかしさとかわいさの気持ちでいっぱいです」と述べた。また「時と言葉は呼びもどせない」ということわざを引用して「一瞬、一瞬を大事に」「言葉づかいを慎重に」とお祝いの言葉を送った。これに対して、伊藤孝博さん(北村)と松橋真貴子さん(小川口)が、成人になった感想と将来についての意見を発表した。

続いてキャンドルサービスが行われ、全員が手にしたキャンドルに次々に点火し、お互いの限りない前途を祝福しあった。

最後に、新成人を代表して工藤靖彦さん(野田)と越高孝子さん(水沢)が「困難から逃避せず、小手先の技巧をろうすることなくこの若さをもってあたるのが、私たちにふさわしい生き方と信じます」と新成人の言葉を力強く読みあげた。

アトラクションには山内番楽の有志による番楽披露、町内のママさんたちによるコーラスのプレゼントなどがあり、雰囲気盛り上げていた。

優勝チームには、町長杯が贈られたが、その栄冠を畑町町内会が獲得した。

午後九時からは、踊りの各対抗戦が行われたが、そのおもな結果は次のとおりである。

▽21日

・旧町内対抗

一位 田町 温水プールに魅せられて

二位 昭辰町 花がさおどり

三位 希望ヶ丘 五城目おけさ

・一般団体

一位 五城目老人ボランテア 赤い羽根共同募金

二位 五城目信用金庫 キャラバン

三位 畑町町内会 畑町おぼこ

▽22日

・職場対抗

一位 秋田縫製 森山おけさ

二位 五城目町農協 農協おけさ

三位 東京縫製 新どんばん節

・一般団体

一位 五城目町美容組合 燃えろいい女

二位 秋田中央観光社 二十四の瞳

三位 中川原商店街 若妻おけさ

▽23日

・全町町内部落対抗

一位 畑町 ようこそプールへ 五城目町

二位 下山内 しらゆき姫

三位 田町 頑張り チャンピオン工藤

・一般団体

一位 五城目信用金庫 信金おぼこ

二位 天王町 大崎梨娘

三位 秋田銀行五城目支店 あきぎん笹娘

県民スポーツ大会

9月1日から秋田市で

第九回県民スポーツ大会は、九月一日秋田市の県立体育館での卓球を皮切りに、市内の各会場で九月の第一、第二、第三土曜日と日曜日にそれぞれ行われる。

本町からは、選手役員あわせて百五十二名が参加し、十四競技に出場する。過去にこの大会で剣道、テニス、バレーボール、バスケット男子などが優勝しており、本町チームの活躍が期待される。

競技の日程は次のとおり

・卓球 1日・2日 県立体育館

・相撲 8日 八橋相撲場

・剣道 8日 県立スポーツ会館

・陸上競技 8日・9日 八橋陸上競技場

・バスケットボール 8日・9日 市立体育館

・軟式庭球 8日・9日 八橋・向浜コート

・ソフトボール 8日・9日 市営野球場

・バトミントン 8日・9日 県立体育館

・柔道 9日 県立スポーツ会館

・バレーボール 15日・16日 県立、市立体育館

・バレーボール 15日・16日 県立、市立体育館

・バレーボール 15日・16日 県立、市立体育館

・バレーボール 15日・16日 県立、市立体育館

・バレーボール 15日・16日 県立、市立体育館

・バレーボール 15日・16日 県立、市立体育館

・バレーボール 15日・16日 県立、市立体育館

・バレーボール 15日・16日 県立、市立体育館

全町盆踊り大会
町長杯は
畑町町内会に

二十一日から三日間、山手線けやき通りで全町盆踊り大会が行われた。

連日、子供から大人まで千人かくの人たちが踊りの輪に加わりなかに天王町からの参加者もいた。今年から全町町内部落対抗の



町内部落対抗1位の畑町町内会

五一中卓球男子 全国の檯舞台で大健闘



全県大会で圧勝した五一中チーム

学校の運動史に輝かしい
一ページを加える

八月十六日から青森県民体育館で行われた、第十四回全国中学生卓球大会に出場した五城目第一中学校男子チームは、予選リーグで、成章中(佐賀)、加古川中部中(兵庫)、下条中(長野)など各県代表を倒し、決勝トーナメントで準々決勝まで駒を進めたが、鹿兒島の川内北中学校に惜しくも敗れてしまったものの大健闘。

五一中は、全県中学校総体で団体、個人とも他チームを圧倒して優勝、全国大会での活躍が期待されていたが、選手たちは期待以上の戦績をあげ、学校の運動史に輝かしい一ページを記録した。

前任監督と五卓会の
指導の成果

船木監督は「選手たちはとにかくよくやってくれた。四月監督に就任してから期待はしていたが、

ているので、さらに基本に忠実な練習を積み重ねて来年度にのぞみたい」と語ってくれた。
成績は次のとおり。
予選リーグ(団体戦)

- 一回戦 五一中 3-1 成章中(佐賀)
- 二回戦 五一中 3-2 加古川中部中(兵庫)
- 三回戦 五一中 3-2 下条中(長野)
- 決勝トーナメント
- 一回戦 五一中 3-1 東百鶴中(大阪)
- 準々決勝 五一中 0-3 川内北(鹿兒島)
- 個人戦
- 一回戦 阿部英明 2-0 多賀聡(愛知)
- 二回戦 阿部英明 2-1 大久保(千葉)
- 三回戦 阿部英明 1-2 岡本(栃木)

全国高校総体

本町出身の 選手が活躍

八月一日から九日まで、滋賀県を中心に大阪府、京都府、兵庫県、奈良県、和歌山県の二府四県、二十三市町村で行われた全国高校総合体育大会で、本町出身の選手が県代表として各種目で活躍した。

なかでもフェンシングの坂谷雅子選手(希望ヶ丘)と渡部静子選手(館町)は、秋田聖霊短大付属高校のメンバーとして出場し、同校の準優勝に大きく貢献した。
全国高校総体に出場した本町出身の選手と、そのおもな試合結果は次のとおりである。

五一中女子 全国剣道大会出場

第九回全国中学生選抜剣道優勝大会は、八月十六日午前九時半から東京、日本武道館で、全国から男子四十八チーム、女子四十六チームが参加して行われた。
同大会は今年から女子の部が新たに設けられ、その秋田県代表として五一中チームが出場した。

- 女子団体準々決勝 聖 5-4 西大寺(岡山)
- 同準決勝 聖 5-1 中延学園(東京)
- 同決勝 今別(青森) 5-2 聖 霊
- バスケケット
- 工藤 緑(能代北1・長町)
- 石井 操(能代北1・富田)
- 女子一回戦 能代北 79-4237 (76 百合丘)
- 同二回戦 同二回戦 3131-2930 (59 能代北)
- 漢 英 62
- 同二回戦 3131-2930 (59 能代北)

- 体 操
- 京野 孝喜(能代3・高崎)
- 佐々木藤雄(秋工3・希望ヶ丘)
- 団体 13位 能代
- 個人 11位 京野
- 新体操
- 佐藤貴子(秋田北3・紀久栄町)
- レスリング(52kg級)
- 荒川 豊(五城目・米沢町)
- 52kg級四回戦
- 花井フオル 荒川
- (名古屋商大付) (五高)
- 剣道
- 奈良千春(大館南1・古川町)
- 弓道
- 猿田礼子(五城目2・上樋口)

五一中は、七月二十六日から三日間、秋田市で行われた全県中学校総合体育大会で初優勝しての出場であった。
五一中は予選リーグの第一試合で、山口県代表の岩国中と対戦し、2対1で勝ったが、岐阜県代表の八百津中に3対0で敗れ、総勝ち本数の差で、決勝トーナメントに進出することはできなかった。しかし、五一中のレベルは全国的にみて低くはなく、今一步という感じであった。

秋田県警察逮捕術大会B組で 五城目警察署二年連続優勝なる

七月二十四日、秋田市立体育館で行われた秋田県警察・逮捕術大会で、五城目警察署はB組に出場し、みごと昨年に引き続き連続優勝した。
試合は、B組を二ブロックに分け、四チームがリーグ戦を行い、その勝ちチームが決勝トーナメントに進出し優勝を争った。



五城目警察署チーム



おしらせ

―就業構造基本調査―

築地町・湯ノ又が調査区 希望ヶ丘・上山内

総理府統計局では、十月一日現在で九回目の就業構造基本調査を実施します。

この調査は、全国を代表するよう
に選びだされた地域(調査区)
の中から抽出した約三十五万世帯
を対象として行われます。調査結
果は、政府の雇用、失業対策をは
じめ各種の行政施策立案のための
基礎資料となります。

第379号

広報ごじょうめ

練り歯みがきは、歯をみがく以外に、いろいろの利用法がありま
す。いくつかあげてみましょう。
銅器や金の飾り、それに銀や銀
メッキのフオークやスプーンは、
使わないでいると色が変ります。
柔らかい布に練り歯みがきを少量
つけてこすると、きれいな光沢が
でてきます。あとはぬるま湯でよ
く洗い、水気をよくふきとります
汗などで光のにぶったネックレス

すので、協力してください。
記入されたことがらを他に漏ら
したり統計を作る目的以外に使う
ことは絶対にありません。
調査員は次の方々です。

荒川 キヤ(築地町)
畑 沢 タマ子(湯ノ又)
伊 藤 ミサ(希望ヶ丘)
大 石 良 雄(上山内)



特別弔慰金の 請求は早めに

五月八日に「戦没者等の遺族に
対する特別弔慰金支給法」が、次
のように一部改正されました。

助け合い資金をお気軽に ―窓口社会福祉協議会―

五城目町社会福祉協議会では、
四十五年から「助け合い資金」の
貸付けをしているが、年々その利
用する度合いも増え続けてきてい

これらの条件に該当する遺族に
十二万円(年に二万円を六年間支
給される国債)が支給されます。
これを請求する権利は、三年以
内にしないと時効により消滅しま
すので、早めに役場住民課へ請求
の手続きをしてください。

②旧陸軍部内の文官等の公務死亡
によって、公務扶助料(昭和二
十一年の恩給停止に該当しなかつたものに限り)を受給してい
た方が、死亡、再婚等で失権し
た場合、一定範囲内の遺族に支
給する。

①昭和五十年四月一日から昭和五
十四年三月三十一日までの間に
公務扶助料や遺族年金等を受給
していた方が、死亡、再婚等で
失権した場合、一定範囲内の遺
族に支給する。

練り歯みがきは、 意外な効用

スなどは、ネルのような布に少量
の練り歯みがきをつけて鎖を引
っぱりかげんにして、少しずつこす
きません。
洗面タイル、蛇口、パイプの汚
れとりに、練り歯みがきを布につ
けてこすります。力の入れにくい
所は細くさい布で交互にひっぱ
るとキレイになります。

子のかまかい練り歯みがきを布に
つけてこすると、汚れを落とすと
同時に表面を研磨するのでキズが
つきません。
洗面タイル、蛇口、パイプの汚
れとりに、練り歯みがきを布につ
けてこすります。力の入れにくい
所は細くさい布で交互にひっぱ
るとキレイになります。

とくに、入院など病氣治療し
ている方は、医療費が相当な高額
になるため、国保会計から出るま
でのつなぎ資金として役立って
り、関係者から喜ばれている。
元資金は二百四十万円であるが
今年度の利用状況をみると、貸付
総額百七十四万九千円で、そのう
ち八十五万六千円は医療費として
貸し出されており、その外は生活
資金である。
社会福祉協議会では、医療費等
でお困りの方はいつでもご相談に
応ずるので、お気軽に資金の利用
をしてほしいと呼びかけている。

愛称名を募集

スポーツ巡回指導車の

町では、スポーツの振興と底辺
の拡大をより一層おし進めるため
スポーツ巡回指導車を購入するこ
とにしました。この愛称名を町
民のみなさんから募集します。

●募集期間 9月5日～9月20日
(9月20日の消印有効)

●応募方法

①官製「はがき」を使用する

②愛称名のほかに、愛称名の説明
住所、氏名、年齢、性別、世帯
主名、電話番号を明記する

③児童、生徒、学生の場合は、学
校名と学年を記入する。

④官製「はがき」一枚に愛称名二
点まで(応募枚数の制限なし)

●愛称名の内容

①健康のための体力づくりを表現
したもの

②明るく親しみやすい表現である
もの

③躍動と躍進五城目町の現況を表
現したもの

五城目署に

家出人を捜す相談所を開設

九月一日から三十日まで五城目
警察署に「家出人を捜す相談所」
が開設されます。これは家出人や
行方(ゆくえ)不明の人を発見確
認するために開設されるもので、
消息の分らない家出人でお困りの

方はご利用ください。
現在、五城目署管内では男四名
女五名の家出人の届け出があり、
また昭和二十八年から今まで身元
の分らない死体が四体あります。
期間中、全国の警察署で取扱った
このような家出人や死体の顔写真
や所持品の記録を備え付けていま
す。

④その他、スポーツ巡回指導車に
ふさわしい表現であるもの

●応募資格

五城目町町民であること

●発表 町広報10月1日号
(予定)

●応募先

五城目町上樋口字堂社75

五城目町公民館

勝田さんと小玉さんに 銀色有功章

多年にわたって献血運動の推進
に協力したことが認められ、次の
方々に日本赤十字社から銀色有功
章が送られました。

これは献血回数が三十回以上の
人に送られるもので、本町からは
これで三人の方に交付されたこと
になります。

善意銀行預託者

・七月二十七日

三万円

ポータブル便器 一ヶ

(亡母リサ様の香典返しとして)

・八月七日

五万円

上樋口(下) 猿田 テル
(亡夫俊雄様の香典返しとして)

老人ホームによせられた善意

・七月二十五日

洗 剤

東京都中央区日本橋

茅場町一ー

花王石鹸株式会社

・七月二十九日

西 瓜 75kg(定期慰問)

内 川 婦 人 会

・七月二十九日

五千元 湯ノ又 阿部 チャ

・八月五日

慰 問

下山内 同心会(十名)

・八月十三日

そうめん 70人分

上樋口 猿 田 源三郎

・八月十三日

上樋口 猿 田 源三郎

・八月十三日

上樋口 猿 田 源三郎

・八月十三日

上樋口 猿 田 源三郎

・八月十三日

上樋口 猿 田 源三郎

・八月十三日

上樋口 猿 田 源三郎

・八月十三日

上樋口 猿 田 源三郎